

広陵町における公共交通の現状及び今後の取組概要

1 現状

広陵町の公共交通は、町唯一の鉄道である近鉄田原本線の箸尾駅とバス路線の奈良交通が役目を担っていますが、平成21年2月に広陵町役場前を横断する高田平端線が運行休止になりました。現在のバス路線は、①中央部を通過する高田竹取公園東線、②真美ヶ丘ニュータウン地内を通過する五位堂駅馬見丘陵公園線（馬見北三丁目）、③五位堂馬見北一丁目線、④五位堂駅馬見南二丁目線となっており、これらの沿線地域（町の西部地域）とそれ以外の地域では、公共交通のサービスレベルが大きく異なっており、沿線以外の地域では、買い物や通院に不便をきたしている状況です。

このことから、町ではバス運行休止路線地域を中心として、平成21年4月から予約型乗合自動車「広陵元気号」を料金無料で試行運行しました。

その後、平成24年2月に運行方式を定時定期運行に変更し、更に、平成25年2月に、運行内容（路線・ダイヤ・車両等）の見直しも行い、現在に至っています。

これからも将来に向け、更なる充実・発展を目指し、地域の公共交通としての役割を十分に果たしていくことの検討が必要となっています。

また、議会の地域公共交通システム検討特別委員会の報告においては、「デマンド式乗合型タクシー」での運行を示されました。

このため、町内の公共交通ネットワーク・アクセス手段等を再熟考することを目的として、地域公共交通確保維持改善事業に取り組みます。

2 今後の取組

（1）地域の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

- ① 町民ニーズ調査のためのアンケート調査等により、潜在的な町民ニーズを把握し、その結果を尊重した効率的な地域公共交通を導入することで、町民の日常生活上の移動環境の確保を図り、公共交通のサービス水準を向上させます。
- ② 広陵町ではこれまで、路線バスの欠損を中心に、廃止代替交通手段として公共バスの運行等個別・局地的な対策、対処を行ってきたところですが、今後の人口構造や社会構造の変化を踏まえて、町全体の状況を的確に把握

した上で、将来にわたって利用され財政的にも負担の少ない効率的、効果的な交通体系のあり方の再検討が必要であると考えます。

こうしたことから、行政・交通事業者・町民等、地域の公共交通に関わる主体が連携して地域公共交通の総合的な計画を策定することを目的として、各種調査を実施するものです。

(2) 事業内容

① 地域公共交通の総合的な計画の策定と実施計画の作成

町民生活の基礎となる公共交通を確保・維持・改善することを目的に、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱による国の補助金（地域公共交通調査事業）及び安心して暮らせる地域公共交通確保事業補助金交付要綱による奈良県補助金を活用して、広陵町地域公共交通活性化協議会の検討を経て計画を策定します。

また、次年度以降に実施予定の新たな公共交通体系による事業を実施していく上で必要な具体的なスキーム（運行主体、利用者の推計、運行収支計画等）を作成します。

② 公共交通に関する各種調査等の実施

上記計画を策定するために、次頁「平成26年度の主なスケジュール」、により事業を実施します。なお、計画策定は、プロポーザル方式でコンサルタント業者を選定し、策定支援を受けながら進めていきたい所存です。

(3) 広陵町が目標とする地域公共交通事業

- ① 公共交通に依存せざるを得ない高齢者などの外出を支援する地域公共交通システムを構築し、移動に不便を感じる方でも、無理なく移動できる地域公共交通システムを目指します。
- ② 持続可能な公共交通に向け、財政負担の少ない持続可能な地域公共交通システムを目指します。